

船舶事故等調査報告書

平成25年12月19日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013那第11号
事故等種類	運航阻害
発生日時	平成24年12月18日（火） 11時50分ごろ
発生場所	<p>沖縄県竹富町小浜島東方沖 <small>たけとみ こほま</small> 沖縄県石垣市所在の琉球観音埼灯台から真方位254° 3.9海里付近 <small>いしがき りゅうきゆうかんのん</small> （概位 北緯24° 21.0′ 東経124° 02.5′）</p>
事故等調査の経過	<p>平成25年1月24日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。</p>
<p>事実情報</p> 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	<p>旅客船 ドリーム^{シックス}6、16トン 293-25478 沖縄、丸尾建設株式会社</p>
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	左舷主機5番及び6番シリンダのシリンダヘッド、吸気弁及び排気弁が破損、左舷主機過給機が破損
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、旅客12人を乗せ、小浜島東方沖を約22ノットの対地速力で石垣市石垣港に向けて北東進中、突然、機関室付近から衝撃及び音響が生じ、平成24年12月18日11時50分ごろ、冷却清水温度上昇警報が吹鳴し、左舷主機が自動停止した。</p> <p>船長は、左舷主機を点検したところ、冷却水温が100℃付近まで上昇していることを認め、左舷主機の運転は不可能と判断し、右舷主機のみで石垣港に帰った。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 4、視界 良好 海象：波高 約1.5m</p>
その他の事項	<p>本船は、本インシデントの翌日、機関修理業者が左舷機を開放点検した結果、左舷主機5番及び6番シリンダの排気弁の弁傘部が割損し、シリンダヘッドも弁傘の破片で破損して冷却水が抜けていた。</p> <p>本船は、出力355.0kWのディーゼル機関を2機搭載し、平成18年に中古船として購入された後、毎年検査を受けており、平成23年10月に検査（目視検査）を受けていた。</p> <p>本船は、風と波高約1.5mの波を正面から受け、大きな負荷の変動があった。</p>
<p>分析</p> 乗組員等の関与	不明

<p>船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり あり</p> <p>本船は、小浜島東方沖を北東進中、左舷主機5番及び6番シリンダの排気弁の弁傘部が割損したことから、左舷主機の運転ができなくなり、運航が阻害されたものと考えられる。</p> <p>左舷主機5番及び6番シリンダの排気弁の弁傘部は、本船が平成18年に中古船として購入されてから使用されており、材質が劣化していた可能性があると考えられるが、割損するに至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本インシデントは、本船が、小浜島東方沖を北東進中、左舷主機5番及び6番シリンダの排気弁の弁傘部が割損したため、左舷主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に整備記録を取り、点検整備を確実に行うこと。